

TOPICS

これまでのワークショップを振り返り、公園管理棟の利用像を議論。
公園管理棟の最終プランを発表！



平成30年6月30日(土)、キセラ川西せせらぎ公園管理棟セルフビルドプロジェクト「第4回(設計編)公園管理棟セルフビルドワークショップ」を開催しました。

今回のワークショップでは、これまでのワークショップの振り返りと、第3回のワークショップで出された意見を基に修正した最終プランを発表しました。完成したプランを見ながら、あらためてこの公園管理棟で「どんなことがしたいか」、「そのためには何が必要か」を話し合いました。



ワークショップの振り返り



公園管理棟でしたいことを発表



さらに必要なものを出し合い



最終プランの1/25サイズの模型



各班の意見を取りまとめ



各班の意見を発表

INFO

(施工編)公園管理棟セルフビルドワークショップのお知らせ

10月頃から複数回にわたって、みなさんと公園管理棟をつくる「施工ワークショップ」の開催を予定しています。詳細は裏面に記載しています。ご興味を持たれた方は下記連絡先までご連絡ください。

お問い合わせ：川西市役所 土木部 キセラ川西推進課 担当：錦織、古山、松村 (tel. 072-740-1207)

■開催概要

日時:平成30年6月30日(土)10:00~12:00

場所:市役所 202会議室

参加者:13名

次第:①開会あいさつ

②これまでのWS振返り・プランの報告

③本日の進め方の説明

④ワークショップ

・公園管理棟でやりたいコト

・そのために必要なコト(モノ・行動・管理方法等)

・発表

⑤今後の予定

⑥閉会あいさつ

■ワークショップでの主な意見

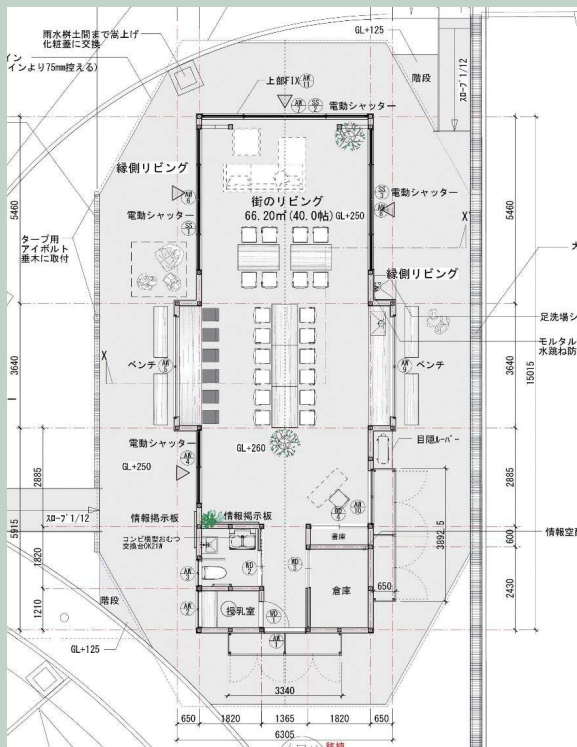
みんなが気持ちよく使えるように、利用者同士が声を掛け合ったり、注意し合える関係が築けたらよいと思う。

どろんこになって遊んだ子どもたちが管理棟に入ってきて、すぐに掃除できるように道具などがあれば助かる。

生物や植物の学習のため、情報掲示板で詳しい人を募集出来たらよいな。

せせらぎで水生生物の観察がしたい。管理棟内に水槽を置ける場所があればよいと思う。

■第3回WSまでの意見を反映した最終プラン



街のリビングは、里庭エリアや遊具で遊ぶ子どもを見守りながら休憩したいという話もあり、秋にできる公園東側のキセラ川西プラザからの人の流れも期待できることから、北側を見通しの良いガラス張りにするよう配置しました。

壁面をガラスサッシにすることで、どこからでも出入りでき、室内の活動(賑わい)の様子を屋外から見えるため開放的で、人が立ち寄りやすい雰囲気を演出しています。

縁側リビングは、楕円形から屋根と同じ形状に修正し、日陰の面積を拡張しました。園路にはみ出す部分は園路に沿って整備します。

屋根もできるだけ広くし、ひさし下のスペースを広く設けました。また、車いすでもアプローチできるように、スロープを2箇所設置しています。

■ワークショップに参加した感想

○公園管理棟がこれからどう育っていくのか楽しみです。こんなワークショップ出来る川西市、本当にすごい!

○きっと何時間やっても時間が足りないと思うけれど、もっと議論したかったです。ワークショップの回数が少ないと感じました。

○市民の考え方が反映されて良かった。素晴らしい建築に乾杯。

○自分が少しでも関わられて嬉しい。

○ワークショップで出たアイデアを実際に盛り込んだプランになっていて良いと思う。

■ワークショップのまとめ

今回はこれまでのワークショップの最終回ということで、みなさんの意見を形にした最終プランの発表と、そのプランを踏まえ、公園管理棟で何がしたいか意見を出し合いました。この内容は、建物完成時に振り返って次のステップにつなげていきたいと思っています。

約4ヶ月に渡り計4回、キセラ川西せせらぎ公園管理棟セルフビルド設計ワークショップを開催しました。みなさんの活発な議論によってプランが完成しました。ありがとうございます。完成が楽しみです。

■今後の予定(案)

公園管理棟を自分たちでつくる(施工編)公園管理棟セルフビルドワークショップを開催します。

※詳しい日時は追ってお知らせします。

10月13日	見学会&WS(施設愛称の検討)	
11月17日	見学会&WS(愛称の決定、運営ルールの検討)	
12月中旬	ベンチづくりWS	親子参加可
平成31年1月	土間及び壁塗りWS	親子参加可
平成31年2月	外部倉庫づくりWS	親子参加可
平成31年3月	お披露目会	

■最終設計案のパース図(完成イメージ)



設計変更点のご報告

第4回設計ワークショップ開催後、設計の内容に若干の変更が生まれました。

北側、北東、北西の出入り口を兼ねた開口部のサイズを、施工と管理を配慮して検討した結果、標準的な寸法に合わせて少し小さくしました。そのサイズ変更に伴い、電動シャッターも手動式シャッターに変更しています。